

目次

神経戦争とA B C D戦線(マニラ)……………9

A B C D戦線は米英の戦術的造語／神経戦争下の大西洋上会談／A B C D戦線攻勢の第一陣／大型米英マニラ軍事会談の誇示／米閣僚級の経済特使も一役／急造り防衛の悲劇／日本A B C D戦線を逆用／ロムロもA B C D戦線演出陣の一人

マック・アーサーとケソン大統領(マニラ)……………29

比島攻略の誤算／マ將軍のケソン工作／親日反米は過去のケソン／当時のケソンは対米忠誠／マ將軍得意の憲法論／比島の民心をつなぐために／親日家ケソンに妄執する日本

日米交渉と来栖大使の急派(マニラ)

49

開戦直前、大使マニラへ飛来／軽妙洒脱の記者会見／花やぐパーティー自嘲する大使／帝国軍人スパイも出席のパーティー／陽動作戦滑り出しは上乘／最後通牒ばりの東条演説／来栖をサボらせる／日米交渉は破局へ／来栖の人生最悪の日／見抜かれた陽動作戦の企図

開戦直前辛くもマニラ脱出(ハノイ)

69

米比人との友情をさかれて／戦争非協力のシビル精神／戦争に捲きこまれたくない／マニラ湾口の機雷原をゆく／危険と不安一杯の南シナ海／仏印上陸日本軍の配置に驚く／仕組まれた戦争は始まった

驕れる戦勝族のジャワ狂騒曲(スラバヤ)

89

駆けこんだ南方の楽園／ゴルフ道具を買占めた將軍／女王給与といふ名の掠奪／聖戦が泣く道義の退廃／虚構の文字を綴る文化人／黒系日本人と白系日本人／不要不急の日本人が／煙草キャメルは駱駝の缶詰／数十回のアイ・ラブ・ユー／緒戦の勝利が阿片／芸者の空輪、これでも戦争か

スカルノ執念の独立への戦い(ジャカルタ)

109

独立期待を裏切った神兵／日本の押し付け運動を逆手に／民族独立運動の火種を温存／名ばかりの政治参与／民族運動弾圧の憲兵隊／国際情勢の推移に即応／若い民族運動家の立ち上り／戦いといった民族の独立

仏印の三・九クーデター(サイゴン)

131

戦局転換の大作戦と呼号／共同防衛から単独支配へ／ドクーの対日協力体制／第二のパール・ハーバー／悪評高かった人間爆雷訓練／新聞記者の召集解除／外交官が司政官に早変わり／ベトミンの抵抗／協力者を倒す必要があったか

南方総軍の末路と寺内元帥の最後(サイゴン)

151

総司令官の華麗な招宴／寺内元帥南方独立の夢をいう／移動する総軍再びサイゴンへ／弱い総軍強がりの抗戦継続／戦争は嫌だわねの運動／汚い日本人の運動ひろまる／寺内元帥病にたおる／総司令官候補に東条大将も／狂った元帥に敵将の情け／悲劇的な最後の会見

五日早かった敗戦のニュース(サイゴン)……………171

敗戦論者が雀踊りした日／戦争終了の解放感／敗北とオリンピック精神／昨日にかわるフランス人の表情／日本降伏は既成事実／ケンベイ総領事夫人を拘引／影うすれた徹底抗戦論／恩賜の煙草の空しさ／詔書捧読に日本人のすすり泣き／巨大なベトナム民衆のデモ／被圧迫民族の立ち上り／ベトナムの全国的蜂起

ベトナムの独立とフランスの再支配(サイゴン)……………193

ベトナム民主共和国の誕生／フランス再支配を狙う／反仏的なデモの恐怖／ベトナムと英仏の戦争開始／不安、恐怖、虐殺の町サイゴン／ルクレール將軍戦争を拡大／総選挙の実施と飢饉の克服／フランス軍のトンキン上陸

新しい軍隊・ベトナム解放軍(サイゴン)……………213

新共和国は戦力蓄積の源泉／祖国防衛戦争と汚い戦争／ゲリラ戦術と長期抗戦／ベトナムは民族統一の中核体／土地改革により農民兵士の威力倍増／ゆるやかなベトナム綱領／ホー・チミンの指導性

軍部専制への執着と新しい息吹き(サイゴン)……………235

よき日の夢追う現地軍／軍内部の共産主義への傾斜／英仏軍対立のあおり／神経をすりへらす抑留生活／引揚船内の旧参謀将校